

事務 事業名	コード1	31300	あさひ健康パーク維持管理費	課	都市整備課		
	コード2			所属班	街路公園班		
			☐ 主要事業	電話番号	(62)5354	内線	464
政策 体系	基本方針	3	健やかでやすらぎのあるまちづくり	予算	会計		款 項 目
	施策	1	保健の充実	科目	一般会計		8 3 4
	施策の展開	1	健康づくりの推進	根拠	あさひパークゴルフ場の設置及び管理に関する条例		
	基本事業	118	健康・体力づくりの推進	法令			

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 20 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	あさひ健康パーク内のパークゴルフ場の維持管理及び運営を行う。 【運営業務】利用申請受付及び利用料金徴収(臨時職員)、【維持管理業務】コース樹木・芝生管理、警備業務、清掃業務、浄化槽点検(委託)。正職員は、利用料金集金、苦情・問い合わせ対応、機器交換等の一部の維持管理業務を行う。 【利用料】月極会員：平日利用(2,500円/月)、一般利用：(500円/回、1,000円/日) パークゴルフとは1本のクラブと1個のボールがあれば誰でも楽しめるスポーツです。緑の芝生コース(18ホール、全長800m)をプレーすることにより、楽しく健康な体づくりをしていただく。また、グループでコースをまわることにより、パークゴルフというスポーツを通じて、市民交流の場にもなります。 【業務の流れ】 【臨時職員】受付業務(利用料金徴収)⇒プレー終了⇒コース管理⇒集計(徴収料金・利用人数等)⇒現金回収⇒歳入納付 【正規職員】契約事務(コース維持管理業務委託、施設警備業務委託、施設清掃業務委託、ハンドドライヤー及びエントランス用マット賃借。現金回収(2～3回/週)⇒納付

(2)トータルコスト

① 事業費の内訳(24年度の実績)	単位:千円
1.コース維持管理	8,677
2.施設管理	5,084
3.賃金	6,643
	0
歳入:あさひパークゴルフ場使用料	11,101千円
② 延べ業務時間の内訳(24年度の実績)	単位:時間
(1.0h/日×2人)×264日/年(22日/月)=528h/年(延べ業務時間)	

	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
事業費	1.コース維持管理	千円 8,225	4,760	8,677	9,450
	2.施設管理	千円 6,447	4,305	5,084	7,612
	3.賃金	千円 8,175	598	6,643	8,068
		千円			
	事業費計(A)	千円 22,847	9,663	20,404	25,130
人件費	うち一般財源	千円 9,844	9,663	9,303	14,430
	正規職員従事人数	人 0.26	0.26	0.26	0.26
	延べ業務時間	時間 528	528	528	528
	人件費計(B)	千円 2,006	2,006	2,006	2,006
	トータルコスト(A)+(B)	千円 24,853	11,669	22,410	27,136

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	24年度実績(24年度に行った主な活動) 利用料金集金 苦情・問い合わせ対応 維持管理業務 グリーンの補修 25年度計画(25年度に計画している主な活動) 利用料金集金 苦情・問い合わせ対応 維持管理業務	ア 運営日数	日	365	0	335	335
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	イ 臨時職員数	人	6	0	6	6
	ア パークゴルフ場施設(芝生など(フェアウェイ、ラフ、バンカー)18ホール、植栽、管理棟1階部分) イ 市民 ウ 観光客	ウ コース維持管理回数(芝生管理)	回	27	0	27	27
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	ア プレーする方が快適に利用できるよう適切に維持管理される。 イ パークゴルフを通じて健康な体づくりを行う。 ウ パークゴルフ場を利用する。	意見・苦情・要望など(処理件数)	件	不明	0	7	0
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	イ パークゴルフ場の年間延べ利用者数	人	23,984	0	24,207	25,000
	・市民の健康増進 ・観光の振興(観光客が市に多く訪れる)	一般利用人数	人	8,460	0	5,684	5,292
上位目的	⑧ 上位成果指標名(考え方)	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	ア 運動の習慣がある市民の割合	イ 観光入込客数	千人	1,216	909	1,277	1,280

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
市民の健康づくりの増進と海岸地域の振興に資するため、公営施設旭荘の跡地で平成20年度に事業を開始した。	開始後4年(震災で1年休場)を経過。当初より指定管理制度により運営管理していたが、平成23年度末で(財)旭市福祉協会が解散したことにより、平成24年度から都市整備課が運営管理することとなり、運営日が365日から335日となった。	利用者からコースの増設、コース内の除草作業を増やすなどの要望が寄せられている。

事務事業名	あさひ健康パーク維持管理費	課名	都市整備課	班名	街路公園班
-------	---------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 パークゴルフは年齢を問わず行えるスポーツであり、市民、観光客と広く対象とし、健康づくりや観光振興に資する。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 観光の振興に関しては、市のイベントの1つとして市外の方の利用もあり、観光振興に結びついているが、市民の健康増進に関しては、現在、パークゴルフ場を利用している方は、あさひパークゴルフ協会会員(高齢者)が90%を占めている状況であり、多くの一般の方にも気軽に利用してもらえるように検討する必要がある。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 事業開始当初は施設周辺の保安林の保全等のため市が関与する必要性があったが、施設整備が終わった現状では、民間企業による運営も可能である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 目標とする利用人数は設定していないが、毎月2,500人程度の利用があり、近隣のパークゴルフ場より利用は多い状況となっているが、固定の会員の利用が多く、広く一般の方に利用してもらえるよう工夫する必要がある。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 平日はほとんどあさひパークゴルフ協会会員がプレーしているため、その他の一般の方に多く利用してもらえる方法を検討し、実施することで利用者数の増加が図られる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：(あさひ健康福祉センター運営事業) (2) ☒ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 あさひ健康福祉センターとの連携、統合を図ることで、より健康の増進を図れる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 主にコースの維持管理費にかかる比重が大きいいため、維持管理の内容を工夫することにより、削減できる。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 パークゴルフ場の運営に係る業務及び維持管理のほとんどを臨時職員6名のローテーションで対応しており、正規職員行っている業務は時間が少なく、これ以上の業務時間の短縮は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】 利用料金を徴収しているが、年間維持管理費の約半分が一般財源で充てているため、利用料金の見直しを検討していく必要がある。また、現行、月極会員と一般の利用料金のバランスが取れていない。月極会員は2,500円/月(平日のみ)で1日プレー出来るが、一般の料金については、500円/1回、1,000円/日であり、月極会員料金が大幅に割安の設定となっている。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	・市民の健康増進を図るため、出来るだけ多くの市民にプレーしてもらえるよう工夫する。 ・観光の振興を図るため、出来るだけ多くの観光客にプレーしてもらえるよう工夫する。 ・維持管理の内容、利用料金の改定により効率性、公平性を見直し、より適正な運営管理を目途とする。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)※2～3年後を目処にした方向性 ☐ 目的再設定 ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 廃止・休止 ☒ 行政関与の見直し ☒ 事業統廃合・連携(関連事業:あさひ健康福祉センター運営事業) ☒ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☒ 費用負担の適正化			(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 改革改善案について※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①平成28年度までに、指定管理者制度の再導入を検討する。 ②市民、観光客の利用者を増やすためのPRを実施する。(他課との連携も含む) ③全体計画の見直しの中で、維持管理費用削減についても検討していく。 ④今年度中を目途に利用料金の改定について検討する。																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①指定管理を受ける業者が少ない。 ②特になし ③津波被害による塩害の影響があるため、当面に維持管理経費の削減は難しい。 ④料金改定について、利用者からの理解を得るのが困難。																								